

'70

会報



THE ROTARY CLUB
OF TSURUOKA

鶴岡ロータリー

第 574 号

1970. 10. 20 (火)

例会場 鶴岡市本町二丁目 ひさごや

事務所 鶴岡市馬場町 商工会議所内 ☎ 5775

会報はご家族みんなで読ましましょう

「隔りを取り除こう」

出席報告

本日の出席	会員数	63名
	出席数	43名
	出席率	68.25%
欠席者	荒明君、安藤君、長谷川(文)君、長谷川(悦)君、早坂(徳)君、林君、橋浦君、平田(圭)君、池内君、石井君、加藤君、黒谷君、三浦君、三井(賢)君、中山君、齋藤(得)君、齋藤(信)君、佐藤(昇)君、笹原君、藪田君	
前回の出席	前回出席率	58.73%
	修正出席数	49名
	確定出席率	77.78%
マークアップ	阿宗君一新庄 RC	
	石黒君、新穂君一温海 RC	
	富樫君、高橋君、鈴木(善)君	
	三井(賢)君、三井(徹)君、金野君、金井君、五十嵐(三)君	
	五十嵐(一)君一鶴岡西 RC	

ビジター 五十嵐正雄君、原田行雄君、五十嵐卓三君、谷谷義雄君、以上鶴岡西 RC

スマイル 石黒慶之助君

歯科医師会発足65年行事として、また国民健康保険の功績者として表彰を受けたため

四つのテスト

——言行はこれに照してから——

1. 真実か、どうか
is it the truth?
2. みんなに公平か
is it fair to all concerned?
3. 好意と友情を深めるか
will it build goodwill and better friendships?
4. みんなのためになるかどうか
will it be beneficial to all concerned?

会長報告

今日9時から行われた鶴岡ロータリークラブ、鶴岡ライオンズクラブ、鶴岡青年会議所鶴岡商工会議所青年委員会等の親善ソフト大会に私も出て参りました。私が監督ということで出て参りましたが、善戦空しく13対12で敗れてしまいました。

来年5月にシドニーで開催される世界大会に参加する方のうちで、穴沢養一バストガバナーを団長とする国際親善旅行団に加わって参加される方がいらっしゃれば、10月末日までに回答しなければならぬのでお申込みねがいます。これは団長と太平洋観光KKとの特約で行うので普通の旅行者との計画とは関係ありません。

五十嵐伊市郎君

酒田と鶴岡の親睦コンペを24日に行いますので、参加希望の方は今日事務局にお申し込みがあります。スタートは11時からです。

今日のソフト大会の親睦懇親会を午後6時から美人餅屋で行います。会費は600円であります。多数の参加を望みます。

ユースホステルの意義と

ユースホステルの設立経過と現況

日本ユースホステル協会常任理事

小野里 賢 一 氏

本日鶴岡ロータリークラブの例会にゲストとしてお招きを受けましたことを光栄とし感

謝いたします。

本日当地方に参りましたのは、三瀬にユースホステルをつくるべく地鎮祭を行うためです。そしたら今日鶴岡ロータリークラブで例会があるので出るようにとのおよびかけがあり、この点鶴岡市民の方々が青少年の育成について関心があり、また熱意がたかいと私共深く敬服するところであります。

この鶴岡のユースホステルは、市と県の誘致要望に応えまして、昨年現地調査を行い本日施工することになりましたが、この建物についてはここにも設計の写真ならびに、本設計を担当しました明治大学講師小川淳氏がみえておりますので、この建物のイメージと何故このような建物にしたかについて、また設計上の苦心については後程話していただきたいと思っております。

ユースホステルという言葉は、皆様ご存知の方々が多数ありと存じます。しかし鶴岡ユースホステルが建設される過程において、更に市民の皆様からユースホステルが身近に感じていただけるのではないかと思うのであります。

ユースホステルは日本においては未だ歴史が浅いのであります。恰度10月16日で19周年になり、来年20周年目に入ろうとするときにあたります。日本におけるユースホステル運動は、私共の横山理事長を中心とし日本においては青少年団体の青少年活動から出発したものであります。そしてヨーロッパのユースホステルの形態とは異っております。これは何故かと言いますと青少年団の運動とかジュニアチェンバー青年会議所の運動というものをおこしまして、それが青少年運動としてのユースホステル活動を、日本において展開して行こうということになったからで、基本的にはドイツやヨーロッパ諸国のユースホステルの運動の現況とは多少異っております。しかし精神そのものにおいては、何等変わるものはありません。それは何故日本のユースホステル運動というものが、そのような形態をたどってきたかということですが、これは日本の敗戦後日本の荒廃ということから、日本の地域青年団や地域青年会というような地域青年運動というものがおこって参ったのですが、その中でどうしても地域から離れて行く人達、この人達をどうしたらいいかということが出発点であります。そこでジュニアチェンバーの運動がおこり、そしてまたユースホステル運動というものがおきてきたのであります。そしてその時の経済環境というものは皆様充分御承知のように、日本の国力は今の経済力のようなものがなかったのです。それでユースホステル運動、これはアメリカか

ら学んだのですが、ロックヘネラー3世が当時アメリカの会長で、日本においてはジャパンユースホステルこれ日本の青年会、これの事務局長が当時横山でありました。それが日本の青年団の代表としてアメリカに招かれたのであります。

たまたまロックヘネラー会長と名刺を交換しましたところ、ジャパンユースホステルと日本青年会直訳がのっていたので、日本にもユースホステルがあるのかということから話がはじまって、日本では、はじめてアメリカでユースホステルの実態にふれたのであります。しかし日本では当時ユースホステルという施設をつくる資金が協会としては調達出来なかったのであります。そこで已を得ず、個人の篤志家の協力を得て、そして篤志家の別荘あるいは居宅あるいは居宅の一部あるいは旅館の一部あるいは社寺仏閣の一部をユースホステルとして開放していただき、これをユースホステルとして見立てた訳であります。

そして我々がリュックを背負い若い人達とともに、このホステルを使ってその中で料理をし、帰るときには来たときよりも綺麗にするのだ、これが我々の信条だと、あるいはユースホステルは自家の家だとし、ここには管理者と言いヘアレントというお父さんお母さんがいると、このヘアレントを中心として我々はここを自分の家として生活するのだと、旅における家として、だから家人として家事に協力するのは当たり前か、だから我々はセルフサービスでやるんだというようなことから、あるいはその晩のメーカー、あるいはその土地のお話し、あるいは文化歴史産業というようなものをたずね、そしてそこで土地の古老その他の人々からお話をききつつ、それが本当のホステリングというものだと、そういうことを皆で体験しながらPR即ちユースホステル運動の啓蒙をはじめた訳であります。これは日本的な展開なのであります。

私共には先程申し上げたように資金もありません。政府も当時応援してくれません。今でもその応援は少うございますし、民間の純粋な運動であります。そういう切羽つまったことから始めたことが怪我の功名と申しましようか当時13名の発起人ではじめたユースホステルが、その年はじめて53名の会員を得まして、それから毎年毎年会員が倍増しまして昨年度は51万余名という年度登録会員を得ることが出来ました。

そしてユースホスールの施設も鶴岡にも出来ることになり、それは世界に冠するものの一つもはずかしくないものと思えます。

65年前にヨーロッパのドイツにユースホス

テル運動がおこったのでありますが、そこには歴史と伝統があり国の施策国情もちがいが、それとともにその施設も大きなものがあります。内容的に設備として十分な資金を投じておりますのでいい設備も出来ております。

しかし日本では、ここにいらっしゃる小川さんから昨年は岩手県における陸前高田においてユースホステルをつくってもらいました。

その中には、その風土に合ったきめのこまかい施設、建築内容建築物というものが、非常に国際的にも高く評価されまして国際ユースホステル連盟の機関紙あるいは日本建築学会雑誌にもわがユースホステルが紹介されている現況であります。

しかし、建設には予算というものがありますが、予算がないので、十分な施設というものは出来ないであります。我々はそれを建築する方々の気持ちにうって、そして我々のあとに続く旅人のために協力してほしいということをお願いしてやっていくのであります。

そのために世界に誇れるといい施設が出来てくると思っております。

私も創立以来ユースホステル運動を行っており、また青年会議所などもやってきましたが、私はしゃべることが専門ではありません。私のユースホステル運動の日本における理念というようなもの、それは私共の恩師であるところの下中弥三郎先生、賀川豊彦先生などから継承を受け、この実践活動を日本的に展開して下さいが現在の理事長の横山先生であります。こういう方ならば、専門的にお話していただけるのですが、私の話は体験から申し上げたのでおきき苦しい点が多々あったと思います。私としてもこういう機会に思っていることをぶちまけることが時間の制約などもあって仲々出来ません。

しかしこういう機会にお話をさせていただき本当に有難うございました。

それとともに、現在日本のユースホステル運動又は日本ユースホステル協会というものを青少年運動として（これは文部省の体育局のスポーツ課の主幹であります）そしてこれは青少年関係団体として我々は中央青少年団体連絡協議会或は青少年育成国民会議などと一緒になって青少年育成運動をはかっているのであります。しかし日本の現状というものは非常に寂しいと思うのであります。それは私共がこの20年かかってやってきた。しかしそれは何等今の行政においても変わっていない現状であります。それは就中社会教育の面だと思えます。社会教育法が制定されて以来今日までこの法が何等改善されていない。

それで青少年団体における立法的なものあるいは育成というものが、施策の中で非常におくれている。そして審議会などの答申案が何等履行されていないことです。

そして過日青少年団体が皆集りまして、我々の力で国に向って青少年の育成ということで働きかけなければいけないのではないかとということになったのであります。そのためには社会教育法の審議会、社会教育審議会の答申案が来年3月出来るので、それに我々青少年団体が手を合せて、顧問その他の関係国会議員を動員して青少年立法のようなもの、即ち社会教育法の改正まで、やって行くところの関係議員連盟をつくらうということ、中央では積極的に運動が展開されております。近々には新聞社でもキャンペーンをはっていただけると思っております。

その節はロータリアンの方々からも我々のあとに続く旅人の若い人達を育成する立場をもって今後とも青少年団体を御支援ねがえれば非常に仕合せと思えます。

なお鶴岡のユースホステルが来年の5月にはオープンいたします。鶴岡ユースホステルは鶴岡市の方々の非常なご熱意によって、又ご協力によって出来るものですが割合に施設は貧弱なのであります。それで施設にいろいろ不満もありませんが、それは鶴岡市の財産のつもりで育てていただきたいのであります。それとともに全国また世界の国々からこの鶴岡を訪ねてくるホステラーがごさいます。その際はどうぞロータリアンの精神をホステラーに植付けて、ホステラーとともにこのユースホステルを育てていただきたいということをお願いしまして私の話をうたせさせていただきます。

ユースホステルの風土性施設概要について

明治大学講師 小川 淳氏

鶴岡ユースホステルの設計にあたりまして設計の構想などから設計をどういう風にまとめたかについてお話したいと思います。

今年の4月から設計に入ったのであります。今この席におられます小野里常任理事をはじめ日本ユースホステル協会の方々のご指導のもとに、設計をすすめていったのですがたまたま基本設計の段階でイスラエルの建築家でイスラエルのユースホステルを設計している設計者と話す機会を今年の春もったのです。

その際云われたことは日本のユースホステルの建物は施設としては立派なものがある、けれども風土性日本のユースホステルとしての特長が感じられないと云ってあったのです。それで今度鶴岡ユースホステルを設計する際には（私はユースホステルとかレグラー

ジョン施設を設計しておりますけれども)風土性を近代建築の中にどういう風に溶け込ませるかということの問題にしまして、その解決の緒として4つのことを設定したのであります。

その4つの点といいますのは、一つは田麦侯の民家です。これは日本の建築物として普通民家の中でも代表的な多層民家の形態をとっており、これは素晴らしい民家です。そういう田麦侯の民家を構想の一つのポイントにしようとして、それから今は使われておりませんが、乳飲児を育てる用具としてイズメコという囲まれた空間というようなものをとり上げようとして、それからどこでもあったことですが、囲炉裏を囲む空間性をもたせようとして、それからもう一つは三瀬の綺麗な山並と日本海の海がよくみえるような位置のこと。それは建つ位置が山の中腹になっており北側が崖地になっております。これは北側ではよく見えませんが南側が日本海がよく見えるところにありますので、建物に方向性をもたしてながめをよくしようという、そういう4つの点で設計をすすめまして今お目にかかる絵のようにしたのであります。

一寸説明しますと、段状の部屋あり田麦侯のうまく利用した屋根裏をとり入れたものであります。即ちせり上った宿泊室に直接屋根をかけた田麦侯の美しいイメージをもたせ盛り上った中央の部分に、この建物の中心施設である集会室というものも設けたのであります。それでこの集会室には、ファイヤープレスと云って、つまり囲炉裏ですが、冬の囲らんには囲炉裏を中心として人が集るようなそういうコーナーとか、それから和室には切りコタツを設けてありますが、そういう空間を中央部分にもたせてあります。それからこのように南側に向けて突進していくような建物になっております。後側は非常に単純な形の平家になっておりますが段々せり上ってくる。そういう田麦侯のもっている民家の面白さというものをここで表現したつもりであります。

先程イスラエルの建築家が風土性が感じられないと云いますけれども、昔は建築というもの、その土地でとれた材料木材泥壁それからくず屋根の材料とか、紙というようなものを使って民家というものも構成されたものです。今コンクリートとか鉄とか、ガラス、アルミそれは地方性のない材料を使ったときは何によって風土性を表わせばいかんということになりますと、それは建築の内部空間で表現するより仕様がでないかということの特に感じます。それで今度の場合内部空間で風土性をもたせ、それが田麦侯の民家の

屋根のもつイメージに近くなるかという気持で設計したのであります。これは来年の5月に竣工しますので、出来たら是非ご覧になっていただき、私の申したことが本当にそういう空間になっているかどうかということをお御批判していただければ幸に存じます。

施設の概要は宿泊室が男女合せて12室ありますが、収容人員は約100名となっております。それは季節によっては女性が多きたり男性が多きたりする訳です。それをキITCHと部屋を男女別に分けておきますと男子の部屋があいていても女子の部屋が満員でどうも仕様がないう問題が多々ありまして、男女別の間じきりは廊下の部分で換えることが出来る仕組となっております。内部の中心になっている集会室が玄関を入れてきて男女別にわかれて自分の部屋に上って行きながら、ここが中心の施設だということが感知出来るし、どういうところにどういう施設があるか一目でわかるような仕組に設計してあります。

施設の的に鶴岡のユースホテルは夏は水泳が出来るということ、冬はスキーが出来るということ、そういうオールシーズン利用出来るという施設は全国的にもめずらしいのであります。

また暖房は入っておりますし、冬のスキーのための乾燥室というものも備えて、一応冬の寒さに対処出来るような仕組にしております。

以上、卓話が終ってから若干質疑応答の時間が設けられました。

幹事報告

会報到着 鹿児島西RC、郡山RC、

尾花沢RC、外

例会日変更案内

山形西RC 10月26日→10月30日

会場 大沼デパート

その他

ニューヨーク州のクラッシングロータリークラブからニューヨークの世界博覧会を記念して封筒をつくったのだそうです。その残部を直接ロータリー会員におわかしたいとのことで、1枚270円だそうです。希望者は申込下さい。

11月15日温海クラブのチャーターナイトの参加申込書は未着ですが、近々入手されます。次回例会まで参加の申込をねがいます。